

## 三重工場 (MP) CSRLレポート

**事業内容:** トラック・バス・RV車用を中心としたタイヤ製造  
**敷地面積:** 264,000m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 1,101名 (2014年12月)  
**所在地:** 〒516-8530 三重県伊勢市御園町高向  
 1038番地

**相談・苦情などの受付窓口:**  
 業務課 環境管理事務局  
 TEL: 0596-28-3151 (内線455)  
 FAX: 0596-28-3156  
 メールアドレス:  
 katsuharu.omi@y-yokohama.com



### 工場長ご挨拶



高木 誠

横浜ゴム(株)は、環境の基本方針に「社会に対する公正さと、環境との調和を大切にする」を掲げ、トップレベルの環境貢献企業になることを目標としています。私たち三重工場は、神都伊勢、日本一の清流宮川の流域に位置し、業を営む企業として、この豊かな自然を守っていかなければならないと強く感じています。1998年にISO14001の認証を取得して以来、環境マネジメントシステムを機軸に従業員全員参加による環境保全活動に取り組んでいます。環境の保全に関しては、環境負荷の軽減に向け毎年目標を決め取り組む事により、継続的な改善を実施しております。特に、女性職員を中心とした「ムダ取り隊」による業務改善、資源使用量の削減活動、「現場サポート隊」による製造現場の姿をお客さま目線に変えていくサポートは、外に向かって自慢できる特徴的な活動となっています。「千年の杜プロジェクト」「企業の森」

活動を通し、森の創生や水源の確保を行い、CO<sub>2</sub>削減、防災、生物の保護に役立てております。

2014年度は、第7期の植樹を行い、これまでの植樹本数も合計26,244本となり、目標本数に達成しました。また、要望に応じ苗木の提供も行ってきました。

2012年から行っている生物多様性保全活動は、各チームで作成した自前の生物・植物図鑑も整ってきて、前向きかつ、楽しく活動を継続しています。ボランティア活動として、東日本大震災直後、現場有志の手で現地へ支援物資を届け、その後も現地での復興支援活動を継続し2015年3月にも現地へ出向き、総合運動場倉庫内各種運動用具の移動移設と旧女川小学校内にある、民具の整頓活動を行いました。

そして地域ボランティアでは工場周辺地域への清掃活動を行政・自治会と共に実施しています。これらは、工場一丸となった取り組みになっています。今後も地域の皆さまに信頼される企業としてあり続けられる様に取り組んでまいります。

### 組織統治

#### コンプライアンス方針の徹底

全従業員に「コンプライアンスカード」を配布し、会社のコンプライアンスに関する姿勢、方針の徹底を図っています。

#### 組織の自浄機能

厚生ホールに投書箱を設置し、広く従業員からの声を吸い上げ、組織の健全化を図っていく仕組みを導入しました。

### 人権

#### 人権教育

新規採用時には、従業員にコンプライアンスカードを配布し、人権尊重の重要性について教育を実施しています。

また、2014年は労災隠し、労働災害と労災補償について三重工場内で働く全従業員（正社員の他、期間社員、嘱託社員、請負会社社員等も含む）に教育を実施しました。

### 労働慣行

#### 安全衛生の基本

三重工場では2006年にJISHA（中央労働災害防止協会）方式適格OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）を認定取得しました。このシステムは設備の本質安全を追及したリスクの低減改善活動とあわせ、コミュニケーションをはじめとした安全なづくりが柱となっています。

工場の安全衛生方針は、「従業員、協力社員の安全と健康を確保することは企業活動の基盤であり、安全、健康で快適な職場を実現するため、従業員、協力社員の協力の下に労働安全衛生マネジメントシステムを適

切、効果的に実施運用することにより一人ひとりが安全を全てに優先させる」を基本に展開をしています。

#### 安全な設備づくり

リスクアセスメントの手法による危険源の洗出し・評価・改善を推進し、人が間違いを起こしたり、勘違いをしても災害にならないような安全対策を進めています。

安全なづくり

人に焦点を当てた安全活動では、集団指導から個人指導、座学教育から体験型教育へと活動の見直しをはかり、「やらされている」から「やる気型」になるよう変えています。

各個人の弱点をしっかりと認識してみんなで直していくこと、自分も仲間も災害を起こさないづくり、具体的には危険なことは「危険だ」と感じて作業の仕方を考えることができる人をみんなで作り上げていく活動です。

生き生きと働ける職場づくり

職位や社員区分に関係なく、小さな事柄でも良いことについてはさまざまな表彰を行っています。また、失敗を恐れずに、チャレンジすることを奨励しており、現場から多様な発明品も生まれています。

障がい者雇用

障がい者雇用については、関連団体と情報交換を密にし、2013年に3名、2014年に1名を採用し、障がい者の就業体験学習の受け入れも継続実施して、障がい者雇用の拡充に取り組んでいます。

環境マネジメント

環境方針

経営方針に示された「社会に対する公平さと環境との調和を大切に」を規範として、トップレベルの環境貢献事業場になります。

- (1) 三重工場は、全ての活動分野で環境へ配慮した施策に取り組みます。
- (2) 三重工場はステークホルダーとのコミュニケーションを深め、バリューチェーンとの協業を推進し地域貢献・社会貢献に努めます。
- (3) 信頼される工場となるために環境マネジメントシステムを強化し、環境汚染・感覚公害の予防と環境改善を継続的に進めます。
- (4) 関連する法規制及び協定等を遵守し、環境保全に取り組みます。
- (5) 地球温暖化防止の為に温室効果ガス排出量削減を推進します。
- (6) 廃棄物の排出量削減と資源の有効活用の推進をします。
- (7) 環境方針を具現化するため環境目的・目標を設定し、計画的に実行します。
- (8) 工場で働く全ての人々が地球温暖化防止の行動をするよう教育と啓発を行い周知を図ります。
- (9) 生物多様性の保全活動で、伊勢湾をつなぐ「地域の生態系と宮川流域」のかけがえない自然の保護・再生に取り組みます。
- (10) 神都、伊勢の自然との調和・融合し“YOKOHAMA 千年の杜活動”を通じ、地域の要請に対応致します。
- (11) 住民情報を尊重し改善を計画し実行します。
- (12) 本方針は、一般の人からの要求に応じ公表します。

2015年1月1日  
横浜ゴム株式会社三重工場  
工場長

■資源の有効活用/廃棄物の削減

・廃棄物データ



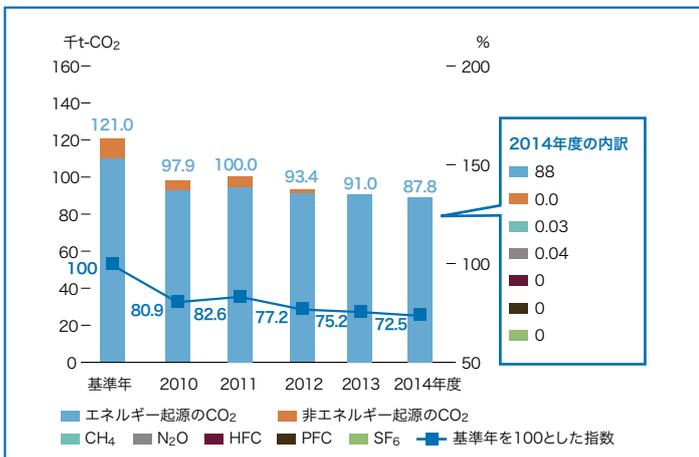
・水使用量



環境データ

■温室効果ガス排出量の削減

・温室効果ガス排出量



※基準年：1990年を原則としていますが、京都議定書に準じてHFC、PFC、SF<sub>6</sub>は1995年としています。  
 ※温室効果ガス(GHG)の算定方法：環境省・経済産業省発行の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」に準拠しています。  
 なお、2009年度の電力購入からのGHG算定は、環境大臣公表の契約電力会社別実排出係数を使用しています。  
 ※2011年度は決算期が4-12月となりましたので、2011年1-3月データを重複させて1-12月で集計しています。

■水・大気・土壌への排出対策

・水質汚濁にかかわるデータ

排水口	項目	規制値	自主管理値	2014年度実績		
				平均値	最大値	最小値
三重工場 No.1排水	PH	6.0~8.0	6.5~7.8	7.2	7.3	7.1
	BOD濃度 (mg/l)	20	10	1.3	2.8	0.5未満
	COD濃度 (mg/l)	20	10	1.5	3.4	0.6
	SS濃度 (mg/l)	40	20	1.3	2.0	1.0未満
	油分濃度 (mg/l)	2	1.6	0.5	0.7	0.5未満
三重工場 No.2排水	PH	6.0~8.0	6.5~7.8	7.3	7.5	6.9
	BOD濃度 (mg/l)	20	10	0.9	1.5	0.5未満
	COD濃度 (mg/l)	20	10	1.0	1.4	0.6
	SS濃度 (mg/l)	40	20	1.3	2.0	1.0未満
	油分濃度 (mg/l)	2	1.6	0.5	0.6	0.5未満

※伊勢市公害防止協定  
 ※排水先 検尻川

**・大気汚染物質 (NOx、SOx)**

項目	NOx	SOx
排出量 (t/年)	69	-

施設名称	項目	規制値	自主管理値	2014年度実績		
				平均値	最大値	最小値
三重工場1号 コーゼネ レーション	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	3.4	1.0	0.09	0.15	0.02未満
	窒素酸化物濃度 (ppm)	100	90	57.25	85	17
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.05	0.01	0.01未満	0.01未満	0.01未満
三重工場2号 コーゼネ レーション	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	3.4	1.0	0.064	0.10	0.03未満
	窒素酸化物濃度 (ppm)	100	90	34	83	23
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.05	0.01	0.01未満	0.01未満	0.01未満
三重工場 3号ボイラー	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	1.0	1.0	0.026	0.042未満	0.01未満
	窒素酸化物濃度 (ppm)	130	120	59	80	37
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.1	0.05	0.01未満	0.01未満	0.003
三重工場 4号ボイラー	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	1.5	1.0	0.04未満	0.04未満	0.04未満
	窒素酸化物濃度 (ppm)	130	120	73	74	71
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.1	0.05	0.005未満	0.005未満	0.005未満
三重工場 1号乾燥炉	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	3.0				
	窒素酸化物濃度 (ppm)	250				
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.1				
三重工場 2号乾燥炉	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	3.0				
	窒素酸化物濃度 (ppm)	250				
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.1				
三重工場 焼却炉	硫黄酸化物排出量 (m <sup>3</sup> N/h)	6.2				
	窒素酸化物濃度 (ppm)	250				
	ばいじん濃度 (g/m <sup>3</sup> N)	0.3				

※大気汚染防止法、伊勢市公害防止協定
**生物多様性保全の取り組みについて**

2014年度は①千年の杜植樹活動 (三重工場)、②企業の森植樹活動 (三重県大紀町)、③勢田川清掃 (伊勢市)、④松尻川 (伊勢市)、⑤大湊海岸 (伊勢市大湊町)、⑥ピオトーブ (三重工場) 保全活動を継続して行いました。④⑤⑥の3カ所は管理監督者以上で月1回生物多様性保全活動の日にチーム活動、3カ月に1回ワークショップを行います。ワークショップでは各チーム活動報告・図鑑について、情報共有を行っています。全体活動は自治会や行政と共に年2回の清掃活動を行っています。⑤大湊海岸の保全活動として大湊小学校4年生を対象に出前授業を行い、大湊海岸の生き物の話、外来種であるコマツヨイグサの抜根大会を開催しました。また、中学校3年生を対象に出前授業も継続しており、昨年に引き続き倉田山中学校、今年度は厚生中学校も実施しました。また、生物多様性保全活動の他社交流会も開催しました。


**公正な事業慣行**
**新規取引先の認定**

人権侵害や法令違反など、問題のある取引先とは取引を開始しないよう、新規に取引を開始する際の要領が定められています。この要領に基づいて新規購買先採用認可手続きを行っており、各種資料を参考にしながら取引業者との面談も行い、取引先を選定しています。

**騒音、振動、臭気について**

騒音：工場敷地境界線 (18カ所) にて管理を行い、月に1回自主測定を実施しています。

振動：工場敷地境界線 (14カ所) にて管理を行い、月に1回自主測定を実施しています。

臭気：工場敷地境界線にて、年に2回自主測定を実施しています。成分試験結果に基づき、ダクト別に消臭剤・芳香剤を使い分け、対策をとっています。

**2014年度寄せられた主な意見や苦情と対応内容**
**臭気**

Q: 臭いのですが、家で臭いがしたなと思い、少しすると臭いが消える。横浜ゴムの人では感覚が違うと思います。そのような時は、どのようにしたらいいですか？

A: 皆さんに工場に入っていただくと、臭いの特定がしやすいと考えています。面倒とは思いますが、案内致しますので、この臭いが近い!と教えていただくと改善や打ち手が早くなると期待しています。

**その他**

Q: 樹木の枝の剪定をお願いしたい工場の西側の市道。0516-0519の場所で枝が進入してきている。枝がうっそうとしているので、すぐにというわけではありませんが、よろしく願います。

A: 現地を確認しました。外灯の機能が果たしていない。影響の無い程度に剪定をして、ご報告をさせていただきたいと思っております。

### 製品・サービスの安全と品質

三重工場は、「お客さま目線で品質を作る」を運営の柱とし、品質マネジメントシステムISO/TS 16949をベースとした製品・サービスの継続的改善を進め、半期毎のシステム内部監査、外部監査によりシステムの有効性を確認しています。

「品質部会」における製品不具合や工程内不具合などの品質情報の共有、品質啓発活動「Qの日」での製品不具合観察、不具合情報分析を元にし

た検査精度向上活動など、「お客さま目線」を全員の意識として共有する活動を進めています。

製品については、ころがり抵抗の低減と摩耗寿命の向上を両立した夏用タイヤ、スノー性能と摩耗寿命を両立した冬用タイヤの販売を行い、環境貢献商品へのシフトを積極的に進めました。

 コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

### 地域社会とのかかわり

#### 地域交流：

5月3日 ふれ愛まつり

#### 地域ボランティア：

3月14日～16日

女川町復興支援ボランティア活動(12名が参加)

#### 施設開放：

地域のサッカーグラウンド(YAMATO様)にグラウンドを貸与しています。

#### 地域行事への協賛：

2月11日 高向大社大祭参画

7月6日 高柳夜店に出店

7月12日 伊勢神宮奉納全国花火大会に協賛

8月 宮川・新高 2町会盆踊り大会に協賛

#### 環境活動：

4月4日 第7-I期植樹祭

5月14日 桧尻川・ほとす川清掃

7月6日 伊勢市主催勢田川七夕大掃除

12月3日 第7-II期植樹祭

11月7日 推進協 答志島漂流物清掃活動参加

#### 生物多様性保全活動：

毎月 生物多様性モニタリング調査実施

### 工場見学・説明会

2014年度は、近隣の小学生や高校生をはじめ、地域団体など、工場見学の受入れを延べ36件、来訪人数635名の方が三重工場に来訪されました。

工場見学、説明会ご希望の場合は下記へご連絡ください。

受付時間 月曜日～金曜日 8:00～17:00  
(年末年始、5月連休、8月連休を除く)

問合せ先 業務課庶務 木田 TEL 0596-28-3151